

事業報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

I. 法人の概況

1. 設立経緯

戦後、昭和27年の日米講和条約発効から昭和47年の復帰までの間、米軍による立入禁止や操業制限によって沖縄県漁民が被った被害に対し、日本政府から特別支出金として拠出された30億円を基本財産とし、種々の漁業振興事業を営むために財団法人として設立された。

2. 設立年月日

昭和53年11月20日

平成25年4月1日 公益法人制度改革に伴い公益財団法人へ移行

3. 目的（定款第3条）

この法人は、沖縄県水産業の振興を図り、安定的な水産物供給と漁業者の生活向上に努め、もって地域社会の健全な発展に寄与することを目的とする。

4. 事業（定款第4条）

この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 水産業・漁村の多面的機能及び水産資源の維持管理に関する事業
- (2) 水産物の加工・流通・消費に関する事業
- (3) 漁業経営体の育成及び経営基盤強化に関する事業
- (4) 漁業後継者等の人材育成及び福祉の向上に関する事業
- (5) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

5. 所管官庁に関する事項

沖縄県

6. 主たる事務所

沖縄県那覇市前島三丁目25番39号

7. 役員等

令和5年3月31日現在

(1) 理事【定数3名以上6名以内、現在数6名】

区分	氏名	所属役職
理事長	新里勝也	学識経験者
副理事長	山入端孝雄	沖縄県漁業協同組合長会会長
理事	上原亀一	沖縄県漁業協同組合連合会代表理事会長
〃	浦崎政伸	九州信用漁業協同組合連合会沖縄統括支店常務理事
〃	桃原聡	沖縄県農林水産部農漁村基盤統括監
〃	島尻常次	学識経験者

任期：令和6年度定時評議員会終結の時まで

(2) 監事【定数3名以内、現在数3名】

区分	氏名	所属役職
監事	玉榮將幸	与那城町漁業協同組合代表理事組合長
〃	倉持輝幸	倉持公認会計士事務所所長
〃	嘉手納良博	一般社団法人沖縄県漁港漁場協会事務局長

任期：令和6年度定時評議員会終結の時まで

(3) 評議員【定数3名以上9名以内、現在数9名】

氏名	所属役職
安里政利	名護漁業協同組合代表理事組合長
若津武徳	石川漁業協同組合代表理事組合長
当真聡	与那原・西原町漁業協同組合代表理事組合長
名嘉村彰	那覇市沿岸漁業協同組合代表理事組合長
伊良波宏紀	伊良部漁業協同組合代表理事組合長
平安名盛正	沖縄県農林水産部水産課課長
亀谷幸夫	沖縄県漁業協同組合連合会代表理事専務
屋比久健	沖縄県漁業士会会長
新立弘子	沖縄県漁協女性部連合会会長

任期：令和6年度定時評議員会終結の時まで

Ⅱ. 庶務の概要

1. 総評

(1) 基本財産運用面

政策金利が依然として低い水準にあることから、金融資産運用に頼る当法人にとっては厳しい状況が続いている。

令和4年度における基本財産 3,325,395 千円の定期預金及び国債等債券による受取利息の運用利回りは 0.60%、金額で 20,004 千円となった。

(2) 事業推進面

[公1事業]

事業主体と事務取扱の契約を締結している債務負担行為に類する事業並びに要望調査結果に基づく各種補助事業を実施した。

[公2事業]

平成25年4月10日に日本と台湾の双方の代表により署名された「東シナ海における平和及び安定を維持し、友好及び互惠協力を推進し、排他的経済水域の海洋生物資源の保存及び合理的な利用並びに操業秩序の維持を図ることを目的とした取り決め（通称：日台漁業取り決め）」により、沖縄県漁業者は外国漁船との漁場競合の激化、水産資源の悪化等に直面している。このような環境の変化に対応するため、国が予算措置した沖縄漁業基金事業により、漁業者の経営安定、被害救済及び漁場機能の回復並びに漁業環境の整備を推進し、本県水産業の競争力強化及び安定的発展に寄与することを目的とする事業を実施した。

[公3事業]

広大な米軍訓練水域の設置や台風襲来による暴風雨や高波などの自然環境による被害など、社会的・地理的な特殊事情によって影響を受けている沖縄県内の漁業者等の経営安定のための総合的な負担軽減対策を目的に、国が平成26年度補正予算で措置した沖縄漁業安定基金事業（公3事業）を実施した。

[その他の事業]

事業主体と事務取扱の契約を締結している債務負担行為に類する「漁業者老齢福祉推進事業」を実施した。

2. 重要な庶務事項

(1) 理事会

年月日	附議議事項及び結果
04.05.11	<p>第1回理事会</p> <p>第1号議案 令和3年度事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の件〔原案のとおり承認〕</p> <p>第2号議案 定時評議員会開催の件〔原案のとおり承認〕</p> <p>附帯決議 本日の議決事項中、軽微な字句の訂正並びに違算誤記による訂正は理事長に一任する。</p>
04.05.27	<p>第2回理事会</p> <p>第1号議案 理事長及び副理事長の選定の件〔理事長に新里勝也、副理事長に山入端孝雄が選定された。〕</p> <p>第2号議案 職務代行順序の件〔1位上原亀一、2位浦崎政伸で決定〕</p>
04.11.08	<p>第3回理事会</p> <p>第1号議案 沖縄漁業基金事業に係る事業検討委員会設置要領の一部改正及び委員の承認について〔原案のとおり承認〕</p> <p>第2号議案 沖縄漁業安定基金事業に係る事業検討委員会設置要領の一部改正及び委員の承認について〔原案のとおり承認〕</p> <p>第3号議案 沖縄漁業基金事業（沖縄産水産物流通促進事業）に係る事業推進評価委員会設置要領の制定及び委員の承認について〔原案のとおり承認〕</p> <p>第4号議案 沖縄漁業安定基金事業（水産物販路拡大推進事業）に係る事業推進評価委員会設置要領の制定及び委員の承認について〔原案のとおり承認〕</p> <p>第5号議案 沖縄漁業安定基金事業（水産物流通加工推進事業）に係る事業推進評価委員会設置要領の制定及び委員の承認について〔原案のとおり承認〕</p> <p>第6号議案 基本財産及び運用財産の資金運用方針について〔原案のとおり承認〕</p> <p>報告事項① 理事の職務の執行状況</p> <p>報告事項② 中間監査報告</p> <p>報告事項③ 債券等のモニタリングを含む運用の経過及び結果</p>

05.03.24	<p>第4回理事会</p> <p>第1号議案 令和5年度事業計画及び収支予算について</p> <p>第2号議案 沖縄漁業基金事業の事業検討委員会設置要領一部改正及び委員の選任について〔原案のとおり承認〕</p> <p>第3号議案 沖縄漁業安定基金事業の事業検討委員会設置要領の一部改正及び委員の選任について〔原案のとおり承認〕</p> <p>第4号議案 沖縄漁業基金事業（沖縄産水産物流通促進事業）の事業推進評価委員会設置要領一部改正及び委員の選任について〔原案のとおり承認〕</p> <p>第5号議案 沖縄漁業安定基金事業（水産物販路拡大推進事業）の事業推進評価委員会設置要領一部改正及び委員の選任について〔原案のとおり承認〕</p> <p>第6号議案 沖縄漁業安定基金事業（水産物流通加工推進事業）の事業推進評価委員会設置要領一部改正及び委員の選任について〔原案のとおり承認〕</p> <p>第7号議案 嘱託職員等に関する就業規則一部改正について〔原案のとおり承認〕</p> <p>附帯決議 本日の議決事項中、軽微な字句の訂正並びに違算誤記による訂正は理事長に一任する。</p>
----------	---

(2) 監事会

年月日	監査事項
04.05.10	定期監査〔令和3年度期末監査〕
04.10.25	定期監査〔令和4年度中間監査〕

(3) 評議員会

年月日	附議事項及び結果
04.05.27	<p>令和4年度定時評議員会</p> <p>第1号議案 令和3年度事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の件〔原案のとおり承認〕</p> <p>第2号議案 理事及び監事の選任の件 〔理事に上原亀一、浦崎政伸、山入端孝雄、桃原聡、新里勝也、島尻常次を選任、監事に倉持輝幸、玉榮将幸、嘉手納良博を選任〕</p> <p>附帯決議 本日の議決事項中、軽微な字句の訂正並びに違算誤記による訂正は理事長に一任する。</p> <p>報告事項 令和4年度事業計画及び収支予算書</p>

(4) 評議員選定委員会

年月日	監 査 事 項
04.04.20	第1号議案 評議員の補充選任の件 〔評議員に安里政利、名嘉村彰、平安名盛正を選任〕

(5) その他

年月日	事 項
04.05.15	沖縄復帰 50 周年記念式典参加（沖縄コンベンションセンター）
06.02	大伸株式会社相談対応（県水産海洋技術センター）
06.09	水産基本計画・漁港漁場整備長期計画説明会参加（福岡県）
06.17	県漁連通常総会出席（水産会館）
07.22	伊是名漁協女性部相談対応（信漁連）
07.27	産地水産加工業イノベーションプラン支援事業審査委員会出席（水産会館）
08.23	おきなわ水産加工業スキルアップ委員会第1回会議出席（水産会館）
10.19	第71回全国漁港漁場大会参加（北海道）
10.11	沖縄県水産公社地方卸売市場初セリ式参加（糸満市）
11.11	沖縄県青壮年・女性漁業者交流大会出席（水産会館）
11.13	第41回全国豊かな海づくり大会参加（兵庫県）
11.17	水産加工業スキルアップ研修会参加（水産会館）
11.22	恩納村漁業協同組合創立 50 周年記念式典・祝賀会出席（恩納村）
12.15	水産加工業スキルアップ研修会参加～12/16（水産会館）
12.19	第1回漁協役職員研修会参加（水産会館）
05.01.31	水産加工業スキルアップ研修会参加～02/01（水産会館）
02.03	沖縄県漁業協同組合長会新春の集い参加（那覇市）
02.17	漁業功労者賞受賞祝賀会出席（伊良部漁協）
03.28	令和4年度水産業改良普及事業検討会出席（水産会館）

3. 許認可及び登記に関する事項

(1) 許認可事項

なし

(2) 登記事項

登記日	登 記 事 項
04.04.01	評議員の一部変更登記
04.04.20	評議員の一部変更登記
04.05.30	理事、代表理事及び監事の変更登記

4. 基本財産に関する事項

今年度は基本財産への繰入や出捐金はなかった。

5. 役職員に関する事項

(1) 理事

選任区分	定数	前年度末	年度内増	年度内減	本年度末
県漁連役員	1名以内	1	1	1	1
漁協系統団体等役員	2名以内	0	1	0	1
漁協組合長会役員	1名以内	0	1	0	1
知事部局職員	〃	1	1	1	1
学識経験者	2名以内	1	2	1	2
合計	3名以上 6名以内	3	6	3	6

(2) 監事

選任区分	定数	前年度末	年度内増	年度内減	本年度末
会計専門家	1名以内	1	1	1	1
漁業協同組合長	〃	1	1	1	1
漁協系統団体等役員	〃	1	1	1	1
合計	3名以内	3	3	3	3

(3) 評議員

選任区分	定数	前年度末	年度内増	年度内減	本年度末
漁業協同組合長	1名以内	3	2	0	5
知事部局職員	〃	1	1	1	1
漁協系統団体等役員	〃	1	0	0	1
漁業士会役員	〃	1	0	0	1
漁協女性部連合会役員	〃	1	0	0	1
合計	3名以上 9名以内	7	3	1	9

(4) 職員

選任区分	前年度末	年度内増	年度内減	本年度末
事務局長	1	0	0	1
課長	1	0	0	1
主任	0	0	0	0
書記	2	0	0	2
嘱託	3	0	0	3
派遣	2	1	1	2
合計	9	1	1	9

Ⅲ. 事業概要

【漁業振興事業（公1事業）】

1. 栽培漁業推進事業*****

本県沿岸域の漁業生産力を高めるための「つくり育てる漁業」の推進を図ることを目的に、漁業者の栽培技術の習得、資源の自主管理及び漁場保全の意欲を啓発し、水産資源の持続的な利用と栽培漁業の定着化を促進するため、漁業者が漁協を通じて実施する稚魚及び稚貝等の放流活動に要する費用に対して補助する事業。

- ・事業の対象：県内の漁業協同組合等
- ・補助率：事業費の50パーセント以内
- ・定款上の根拠：第4条第1号
- ・財源：基本財産の運用益

《予算状況》※費目存置

《関連活動》※なし

2. 水産物販路拡大推進事業*****

漁民の経済的社会的地位の向上と水産業の生産力の向上を図り、地域経済の発展に寄与することを目的に、沖縄県漁業協同組合連合会が実施する県産水産物の販路拡大に要する費用に対し補助する事業。

- ・事業の対象：沖縄県漁業協同組合連合会
- ・補助率：事業費の50パーセント以内
- ・定款上の根拠：第4条第2号
- ・財源：基本財産の運用益

《執行状況》※費目存置

《関連活動》※なし

3. 水産物流通加工推進事業*****

県内の漁業協同組合が実施する水産物の商品開発並びに流通手法開発に要する費用に対して補助する事業。

- ・事業の対象：漁業協同組合
- ・補助率：事業費の50パーセント以内
- ・定款上の根拠：第4条第2号
- ・財源：基本財産の運用益

《執行状況》※費目存置

《関連活動》※なし

4. 地域漁業活性化事業*****

漁業協同組合が漁業者のニーズを基本に行政施策並びに地域と連携した活性化計画の策定及び実施に要する費用に対して補助する事業。

- ・事業の対象：漁業協同組合
- ・補助率：事業費の50パーセント以内
- ・定款上の根拠：第4条第3号
- ・財 源：基本財産の運用益

《執行状況》※費目存置

《関連活動》※なし

5. 漁政活動推進事業*****

開発行為による赤土流出による漁場汚染、米軍演習による操業制限等諸問題等に対し、沖縄県漁業協同組合連合会が国・県への陳情要請活動等に要する経費に対して補助した。

- ・事業の対象：沖縄県漁業協同組合連合会
- ・補助率：事業費の50パーセント以内
- ・定款上の根拠：第4条第3号
- ・財 源：基本財産の運用益

《事業実績》

単位：円

区 分	総事業費	補助率	補助額	摘 要
漁政事業	6,208,895	/	/	水産振興に関する協議や陳情要請費、県外における諸会議への派遣経費、関係漁業者に対する水産業に関する広報や情報の提供を行った。
青壮年・女性 漁業者交換大会	160,399			漁協青壮年部、女性漁業者及びグループ等の自主的な活動実績を発表し、相互の知識の交流、活動意欲の向上及び成果の普及を図ることを目的に開催した。
事業管理費	15,137,764			
合 計	21,507,058	50%以内	3,500,000	

《関連活動》

年月日	事 項
04.05.20	沖縄県水産業成長産業化審査会第1回会員会議議決権行使書提出
07.15	JF 沖縄漁政対策推進協議会第1回幹事会出席（水産会館）
07.25	第1回 JF 沖縄漁政対策推進協議会出席（水産会館）

08.04	「沖縄漁業基金の予算措置等を求める要請」「太平洋クロマグロ資源管理に関する要請」オブザーバー同行（東京）
05.02.07	「日台漁業取決め及び日中漁業協定に関する要請」「外国漁船の取締り強化等に関する要請」オブザーバー同行（東京）

6. 漁協組織強化推進事業*****

本事業は、漁協系統組織の健全な育成を通して、漁業者の生活向上、地域経済の発展に資することを目的とし、関連する2つの事業からなる。

(1) 漁協組織強化推進支援

沖縄県漁業協同組合連合会内に設置された「沖縄県漁業協同組合組織強化推進協議会（構成：県、金融機関、漁業系統団体等）」が実施する漁協組織の経営基盤強化と要改善 JF 対策事業を推進するために要する活動費に補助した。

- ・事業の対象：沖縄県漁業協同組合組織強化推進協議会
- ・補助率：事業費の50パーセント以内
- ・定款上の根拠：第4条第3号
- ・財源：基本財産の運用益

《事業実績》

単位：円

区分	総事業費	補助率	補助額	事業内容
①要改善 JF 対策	7,189,501	/	/	①協議会(1回)、幹事会(1回)、プロジェクト会議(2回)、要改善 JF 経営指導(池間、羽地、伊平屋村)
②経営改善計画実施 漁協等への指導				②伊平屋村漁協、与那国町漁協、伊是名漁協
③研修会の開催				③インボイス制度研修、JF グループ向けインボイス制度説明会
④県域組織再編対策				④糸満漁協・港川漁協（協議）
⑤漁協の現況作成				⑤令和3年度漁協の現況作成
合計	7,189,501	50%以内	2,500,000	

《関連活動》

年月日	事項
03.05.12	沖縄県漁業協同組合組織強化推進協議会第1回幹事会出席（水産会館）
05.25	沖縄県漁業協同組合組織強化推進協議会第1回委員会出席（水産会館）

(2) 利子補給

信用事業譲渡に伴う早期是正措置対象漁協、自主再建に取り組む漁業協同組合との利子補給契約に基づき利子補給した。

- ・事業の対象：漁業協同組合及び沖縄県漁業協同組合連合会
- ・補助率：利子補給契約に基づく
- ・定款上の根拠：第4条第3号
- ・財源：基本財産の運用益

《事業実績》

単位：円

区分	漁協名	期別	期首残高 円	基準金利 (%)	補給率 (%)	補給額 円
自主再建	与那国町	上	52,500,000	1.10	0.018333	9,625
		下	52,500,000	〃	0.018333	9,625
合計						19,250

7. 近代化資金利子補給事業*****

本事業は、漁業者が漁船購入等、資本装備の高度化を図るにあたって、国の制度である近代化資金の借入に伴う負担軽減を図ることを目的に、20トン未満の漁船漁業者及び養殖業を営む漁業者等（沿岸漁協所属の漁業生産法人や漁協含む）が借入れた資金に対し利子補給した。

- ・事業の対象：九州信用漁業協同組合連合会沖縄統括支店
- ・補助率：20パーセント以内
(借入金3千万未満20%、3千万以上15%、法人10%)
- ・定款上の根拠：第4条第3号
- ・財源：基本財産の運用益

《事業実績（上期）》

単位：円

区分	件数	融資金額	融資残額	平均残高	補給率	補給額
3千万未満	32	241,860,000	214,569,000	100,778,845	末端金利×20%	44,640
3千万以上	1	67,000,000	55,830,000	13,613,342	末端金利×15%	6,126
法人等	0	0	0	0	末端金利×10%	0
合計	33	308,860,000	270,399,000	114,392,187		50,766

《事業実績（下期）》

単位：円

区分	件数	融資金額	融資残額	平均残高	補給率	補給額
3千万未満	34	270,160,000	234,368,000	104,766,241	末端金利×20%	52,456
3千万以上	1	42,320,000	42,320,000	8,000,219	末端金利×15%	7,200
法人等	1	50,000,000	50,000,000	21,506,849	末端金利×10%	10,753
合計	36	362,480,000	326,688,000	134,273,309		70,409

8. 漁船海難遺児育英事業*****

不慮の漁船海難事故等によって死亡した漁業者の子弟の救済を目的に、漁業協同組合を給付窓口として育英資金を支給した。

- ・事業の対象：漁業協同組合
- ・補助率：定額（5千円／月）
- ・定款上の根拠：第4条第4号
- ・財源：基本財産の運用益

《事業実績》

単位：円

区分	漁協	件数	遺児数	月額	給付額	備考
上期	2	3	4	5千円/人	120,000	高校生3人、中学生1人
下期	2	3	4	5千円/人	120,000	高校生3人、中学生1人
合計					240,000	

9. 人材育成奨学金給付事業*****

沖縄県漁業協同組合連合会を給付窓口とし、全国漁業協同組合学校に就学する者の学費等に対して補助する事業。

- ・事業の対象：沖縄県漁業協同組合連合会
- ・補助率：事業費の50パーセント以内
- ・定款上の根拠：第4条第4号
- ・財源：基本財産の運用益

《執行状況》※費目存置

《関連活動》※なし

10. 外国人技能実習生受入支援事業*****

漁業分野における外国人との多面的な交流・協力関係を構築し、漁村地域における新たな価値の創造、活性化、生産への貢献による漁業経営の安定並びに漁業後継者の人材育成に資する外国人技能実習生の受入に伴う日本語研修等に係る経費に対し補助した。

- ・事業の対象：漁業協同組合等
- ・補助率：事業費の50パーセント以内
- ・定款上の根拠：第4条第4号
- ・財源：基本財産の運用益

《事業実績》

単位：円

区 分	受入 人数	研修宿 泊日数	事業費	補助率	補助額
伊是名漁協	4名	29日	1,958,000	50%以内	348,000
八重山漁協	2名	29日	933,600		144,000
合 計	6名	—	2,891,600	—	492,000

11. 技術研究開発事業（調査・資料収集）*****

本事業は、漁業環境の変化等に対応した先導的な事業を推進するため、漁業及び流通加工等に関する当面の課題や将来の漁業振興に資する調査や資料収集を行うことを目的とする事業を実施した。

- ・公表方法：事業の成果は決算報告書で公表
- ・定款上の根拠：第4条第1号
- ・財 源：基本財産の運用益・事業収益

(1) 市況情報発信による魚価の安定向上対策事業

市況情報システムの公開情報の充実強化による市場流通の円滑化に資するため、公開情報の維持管理に努めた。

《事業実績》

単位：円

費用区分	予算額	執行額	内 容
通信運搬費	9,000	8,360 77,000	ドメイン管理費用 7/11 5/25 公式 HP セキュリティ暗号化対策費等
消耗品費	383,000	382,800	レンタルサーバー、システムサポート保守料金
支払手数料	2,000	2,140	振込手数料 5/25、7/11、10/21
合 計	394,000	470,300	

○市況情報サイト

名 称：OKINAWA 海人魚市場、アドレス：<http://www.okinawa-fish.jp>

○利用状況

区分	R04年度	R03年度	R02年度	R01年度	H30年度	H29年度
訪問数	164,182	151,035	151,173	138,455	121,622	105,458
閲覧数	576,672	486,742	456,754	416,891	367,986	332,663

※国別訪問数 1位日本（156,237） 2位リトアニア（5,701） 3位米国（392）

○都道府県別の訪問数

区分	沖縄	東京	大阪	福岡	愛知	北海道	その他	合計
訪問数	45,280	35,094	23,813	21,962	3,827	2,425	31,781	164,182

【沖縄漁業基金事業（公2事業）】

平成25年4月10日に日本と台湾の双方の代表により署名された「東シナ海における平和及び安定を維持し、友好及び互惠協力を推進し、排他的経済水域の海洋生物資源の保存及び合理的な利用並びに操業秩序の維持を図ることを目的とした取決め（通称：日台漁業取り決め）」により、沖縄県漁業者が直面している外国漁船との漁場競合の激化、水産資源の悪化等に対応するため、沖縄県の協力のもと漁業者の経営安定、被害救済及び漁場機能の回復並びに漁業環境の整備を推進し、本県水産産業の振興を資することを目的とする事業。

- ・事業の対象：沖縄県内に住所を有する漁業協同組合等
- ・助成率：定額・定率
- ・定款上の根拠：第4条第1号、第2号、第3号
- ・財源：補助金（沖縄漁業基金事業資産）

《執行状況》

単位：円

前年度末残高	令和4年度			
	補正予算	執行額	利息収入額	基金残高
3,820,211,533	1,500,000,000	2,418,543,905	192,755	2,901,860,383

※前年度末残高には利息収入額（H26:586,255円、H27:8,695,955円、H28:8,546,078円、H29:1,215,112円、H30:392,496円、R01:222,169円、R02:216,247円、R03:217,980円）を含む。

《令和4年度実績状況》

単位：円

事業区分	助成金額
1 台湾漁船等対策	2,304,233,658
ア 海底清掃事業	5,907,111
イ 外国漁船操業等調査・監視事業	2,258,782,633
ウ 漁具被害復旧支援事業	0
エ 民間漁業者交流支援事業	4,000,814
オ 操業状況等把握システム開発事業	17,530,000
カ 操業安全対策事業	18,013,100
2 漁業振興対策	79,030,959
ア 沖縄産水産物流通促進事業	25,718,713
イ 漁業経営安定対策事業	32,595,290
(1) 施設整備等利子助成事業	(30,010,978)
(2) 特別保証対策事業	(2,584,312)
ウ 漁業共済掛金助成事業	20,716,956
エ 再編整備等推進事業	0
(1) 再編整備等支援事業	(0)
(2) 魚種転換等支援事業	(0)
3 漁業環境整備の推進	1,464,462
ア 海岸清掃等活動支援事業	1,464,462
事業費計（上記1～3）	2,384,729,079
4 一般管理費	33,814,826
合 計	2,418,543,905

《関連活動》

年月日	事項
04.04.07	沖縄漁業基金事業交付規則一部改正
09.12	第1回事業検討委員会（水産会館）
09.30	第23回沖縄県日台・日中漁業問題対策等漁業者協議会出席（水産会館）
11.28	第9回八重山北方三角水域の操業ルールに関する専門会議出席（東京）
12.02	令和4年度水産関係民間団体事業補助金の割当内示（水産庁→財団）
12.05	令和4年度水産関係民間団体事業補助金交付申請書（財団→農林水産大臣）
12.08	令和4年度水産関係民間団体事業補助金交付決定通知（農林水産大臣→財団）
12.12	令和4年度水産関係民間団体事業補助金支払請求書（財団→農林水産大臣）
12.22	国より補助金15億円の入金
12.26	令和4年度水産関係民間団体事業補助金基金造成完了報告書（財団→農林水産大臣）
05.01.04	令和4年度水産関係民間団体事業補助金確定通知（農林水産大臣→財団）
02.08	第2回事業検討委員会（水産会館）
02.10	事務担当者勉強会（水産会館）
03.03	第24回沖縄県日台・日中漁業問題対策等漁業者協議会出席（水産会館）
03.20	第3回事業検討委員会（水産会館）

1. 事業の内容

(1) 台湾漁船等対策

(ア) 海底清掃事業*****

台湾漁船等による投棄漁具及び放置漁具を回収し、漁場機能の維持管理を行うために必要な「漁具投棄監視巡回」、「漁具回収計画策定」、「投棄漁具回収」、「放置漁具回収」、「回収漁具処分」、「漁具の保管」に要する経費に対して助成した。

- ・事業実施者：沖縄県に住所を有する漁業協同組合等
- ・助成率：定額

《交付状況》

単位：円

交付決定額	確定額	残額	執行率
7,077,000	5,907,111	1,169,889	83.5%

《事業実績》

単位：円

事業実施者	実施内容	事業費	負担区分	
			助成金	自己資金
与那原・西原町 漁業協同組合	令和4年9月23日～11月21日までの間（延べ45日）、農林漁区番号469,470,480の海域でサンゴ網（16.29kg）を回収し、処分した。	5,907,111	5,907,111	0

(イ) 外国漁船操業等調査・監視事業*****

外国漁船の操業状況調査・監視、外国取締船の行動調査・監視、漁場調査等に対して助成した。

- ・事業実施者：沖縄県に住所を有する漁業協同組合等
- ・助成率：定額

《交付状況》

単位：円

交付決定額	確定額	残額	執行率
2,554,292,858	2,258,782,633	295,510,225	88.4%

《事業実績》

事業実施者数	隻数	人数	日数	助成金（円）	
				計画	実績
34	1,043	1,667	22,354	2,554,292,858	2,258,782,633
(33)	(1,001)	(1,615)	(21,520)	(2,393,215,598)	(2,143,300,020)

※括弧内の数値は前年度最終実績値。

(ウ) 漁具被害復旧支援事業*****

外国漁船の緊急避泊等によって漁具や施設の被害が発生した場合、被害漁具等を現状復帰するために必要な被害漁具等の回収・処分、共同利用漁具・施設の購入、代替漁具等の整備等に対して助成をする事業。

- ・事業実施者：沖縄県内に住所を有する漁業協同組合
- ・助成率：定額・定率

《執行状況》※なし

《関連活動》※なし

(エ) 民間漁業者交流支援事業*****

日台漁業取り決め水域等における安全かつ秩序ある操業の維持・確保を図るため、日台等の漁業関係者が具体的な資源管理措置に対する認識を共有することを促進するとともに、台湾漁船等の操業実態を把握するため必要な活動に対して助成した。

- ・事業実施者：沖縄県漁業協同組合連合会
- ・助成率：定額

《交付状況》

単位：円

交付決定額	確定額	残額	執行率
14,768,800	4,000,814	10,767,986	27.1%

《事業実績》

単位：円

事業実施者	実施内容	事業費	負担区分	
			助成金	自己資金
沖縄県漁業協同組合連合会	国内関係団体及び漁業者と協定水域等での資源管理措置の必要性、操業秩序の確立のため、県内漁業者協議会を開催し協議を行った。 また、日本台湾交流協会、当該国関係団体との民間協議を通じ、協定水域等での操業秩序の確立のため、各種漁業の操業実態を把握した。	4,000,814	4,000,814	0

(オ) 操業状況等把握システム開発事業*****

日台漁業取決め水域で操業する我が国漁船の操業状況等を把握するシステムの開発・運用に必要な「開発計画検討委員会」、「システム開発」、「保守管理等」に要する経費に対して助成した。

- ・事業実施者：沖縄県に住所を有する漁業協同組合等
- ・助成率：定額

《交付状況》

単位：円

交付決定額	確定額	残額	執行率
18,420,600	17,530,000	890,600	95.2%

《事業実績》

単位：円

事業実施者	実施内容	事業費	負担区分	
			助成金	自己資金
沖縄県漁業協同組合連合会	・担当者会議（システム概要説明及び意見交換）を開催した。 ・開発計画に基づく機器配備及操業状況の把握に必要なシステム構築等を実施した。 ・開発されたシステム等の適切稼働チェック等、操業状況等の情報入手及び取り纏め。	17,530,000	17,530,000	0

(カ) 操業安全対策事業*****

日台漁業取決め水域等で操業する沖縄県漁業者の安全操業の確保のために必要な機器の整備等に要する経費に対して助成した。

- ・事業実施者：沖縄県に住所を有する漁業協同組合等
- ・助成率：定額

《交付状況》

単位：円

交付決定額	確定額	残額	執行率
18,727,500	18,013,100	714,400	96.2%

《事業実績》

事業実施者数	事業費 (円)	負担区分 (円)		対象機器			
		助成金	自己資金	自動船舶 識別装置 (AIS)	表示用モ ニター	緊急位置 通報装置 (E-PIRB)	携帯無線 標識 (PLB)
15	21,632,780	18,013,100	3,619,680	39	23	3	40

(2) 漁業振興対策

(ア) 沖縄産水産物流通促進事業*****

水産物の生産者、流通業者及び加工業者、若しくはそれらの団体が行う沖縄産水産物の目詰まり解消の個々の取組に対して助成した。

- ・助成対象者：沖縄産水産物の生産者、流通業者、加工業者、それらの団体その他水産庁長官が特に目詰まり解消の実証の取組を行う者と認めた者。
- ・助成率：1 / 2以内

《交付状況》

単位：円

交付決定額	確定額	残額	執行率
28,451,000	25,718,713	2,732,287	90.40%

《事業実績》

単位：円

No.	事業実施者	交付 決定日	事業費	助成金
1	伊是名漁業協同組合	R04.10.28	10,049,000	5,003,000
2	坂下水産株式会社	R04.10.21	18,869,426	9,434,713
3	有限会社水実	R04.10.28	13,175,000	6,587,000
4	与那城町漁業協同組合	R04.10.21	10,427,273	4,694,000
合 計			52,520,699	25,718,713

(イ) 漁業経営安定対策事業*****

①施設整備等利子助成事業

日台漁業取決めの影響を受ける漁業者等が借り入れる資金に対し利子助成した。

- ・助成対象者：沖縄漁業基金事業交付規則（平成 26 年 2 月 21 日施行）第 68 条に該当する者
- ・助 成 率：定額

《交付状況》

資金名	借受者	令和 4 年度対象利子助成額	
		件数	金額
a 設備資金	漁業者	88 件	28,244,370 円
b 運転資金	漁業者	0 件	0 円
c 運転資金	漁 協	2 件	1,766,608 円
合計		90 件	30,010,978 円

《承認状況》

資金名	借受者	令和 4 年度		平成 26 年度～令和 4 年度累計	
		件数	承認額	件数	承認額
a 設備資金	漁業者	7 件	56,180,000 円	126 件	1,386,420,000 円
b 運転資金	漁業者	0 件	0 円	5 件	9,200,000 円
c 運転資金	漁 協	2 件	150,000,000 円	16 件	1,140,000,000 円
合計		9 件	206,180,000 円	147 件	2,535,620,000 円

②特別保証対策事業

日台漁業取決めの影響を受ける漁業者に対する債務保証について、将来生じ得る求償権回収金減少の見合い額に対して助成した。

- ・助成対象者：全国漁業信用基金協会沖縄支所・独立行政法人農林漁業信用基金
- ・助 成 率：定額

【保証引受・助成状況】 全国漁業信用基金協会沖縄支所

資金名	事業実績				
	令和 4 年度		平成 26～令和 4 年度累計		令和 4 年度 助成金 (円)
	件数	保証引受額 (円)	件数	保証引受残高 (円)	
設備資金	5 件	11,754,000	85 件	199,859,445	719,344
運転資金	0 件	0	0 件	0	0
合 計	5 件	11,754,000	85 件	199,859,445	719,344

【保険引受・助成状況】独立行政法人農林漁業信用基金

資金名	事業実績				
	令和4年度		平成26～令和4年度累計		令和4年度 助成金(円)
	件数	保険引受額(円)	件数	保険引受残高(円)	
設備資金	5件	27,426,000	85件	466,338,705	1,864,968
運転資金	0件	0	0件	0	0
合計	5件	27,426,000	85件	466,338,705	1,864,968

(ウ) 漁業共済掛金助成事業*****

外国漁船の影響を受ける漁業者に対し、外国漁船の操業や航行に係る情報を収集する取組に対して漁業共済掛金の一部を助成した。

- ・助成対象者：沖縄漁業基金事業交付規則（平成26年2月21日施行）第88条に該当する者
- ・助成率：定率

《交付状況》

単位：円

交付決定額	確定額	残額	執行率
23,844,000	20,716,956	3,127,044	86.9%

《事業実績》

区分 共済種目	件数	共済限度額 (千円)	共済金額 (千円)	共済掛金 (千円)	国庫補助額 (千円)	補助対象 金額 (千円)	助成金 (円)
漁獲共済	229	2,837,827	1,925,491	96,670	54,382	42,288	21,143,961
過年度 精算等	-	287	144	▲ 2,386	▲ 1,532	▲ 854	▲ 427,005
合計	229	2,838,114	1,925,635	94,284	52,850	41,434	20,716,956

※過年度精算等は、前年度以前の契約の本年度における無効、失効、解除又は精算、無事故払戻しによる増減となっている。

(エ) 再編整備等推進支援事業*****

日台漁業取決めの影響を踏まえた漁業生産体制の再編整備のために行う減船及び業種の転換等の取組に対して助成する事業。

- ・事業実施者：沖縄県漁業協同組合連合会、沖縄県に住所を有する漁業協同組合等
- ・助成率：定率
- ・申請なし

(3) 漁業環境整備の推進

(ア) 海岸清掃等活動支援事業*****

漁業生産力及び漁業生産への支障物の除去による漁労生産性を向上させるため、漁場及び漁場に流れ込む恐れのある漂流・漂着ゴミの除去を行う活動に対して助成した。

- ・事業実施者：沖縄漁業基金事業交付規則第 113 条に該当する者
- ・助成率：定額

《交付状況》

単位：円

交付決定額	確定額	残額	執行率
4,964,250	1,464,462	3,499,788	29.5%

《事業実績》

区 分		伊 江 中 北 海岸保全部会
採 択 決 定	採択日	R04.05.20
	構成員数	259 名
	活動回数	3 回
	交付金額	4,964,250 円
精 算 内 容	精算日	R04.11.29
	実施人数	延べ 154 名
	活動回数	2 回
	精算額	1,464,462 円
	達成率	29.50%

【沖縄漁業安定基金事業（公3事業）】

沖縄県の周辺水域には、広大な米軍訓練水域が設置されているため、沖縄県の水産業の振興に大きな支障となっている。また、沖縄県は最盛期の台風の進路に当たっており、暴風雨や高波などの厳しい自然環境により、水産業への被害も発生している。このような状況を踏まえ、漁業者等が抱える負担の軽減及び経営の安定を図り、水産業の振興による地域経済の活性化を図ることを目的とする事業。

- ・事業の対象：沖縄県内に住所を有する漁業協同組合等
- ・助成率：定額・定率
- ・定款上の根拠：第4条第1号、第2号、第3号
- ・財源：沖縄漁業安定基金資産

《執行状況》

単位：円

前年度末残高	令和4年度		
	執行額	利息収入額	基金残高
297,866,870	97,203,517	21,986	200,685,339

※前年度末残高には平成26年度から令和3年度までの利息収入額1,692,126円を含む。

《令和4年度実績状況》

単位：円

事業区分		助成金額
1 漁業経営安定対策	ア 施設整備等利子助成事業	14,000,479
	イ 保証料補助事業	11,830,324
	ウ 漁業共済掛金補助事業	45,558,297
	エ 漁業用燃油支援対策事業	9,509,500
	オ 漁具被害対策支援事業	0
2 漁業生産向上対策	ア 操業安全対策事業	0
	イ 漁業奨励補助事業	0
	ウ 地域漁業活性化事業	714,788
	（1）地域活性化計画策定事業	0
	（2）太平洋島嶼国入漁支援事業	0
	（3）栽培漁業推進事業	714,788
（4）後継者育成支援事業	0	
エ 資源管理型漁業推進事業	1,000,000	
3 水産物流通加工対策	ア 水産物販路拡大推進事業	4,752,695
	イ 水産物流通加工推進事業	0
	（1）水産物流通加工推進事業	0
（2）水産物流通経路開発支援事業	0	
事業費計（上記1～3）		87,366,083
4 一般管理費		9,837,434
合 計		97,203,517

《関連活動》

年月日	事項
04.04.07	沖縄漁業安定基金交付規則一部改正
09.12	第1回事業検討委員会（水産会館）
05.02.08	第2回事業検討委員会（水産会館）
02.10	事務担当者勉強会（水産会館）
03.20	第3回事業検討委員会（水産会館）

1. 事業の内容

(1) 漁業経営安定対策

(ア) 施設整備等利子助成事業*****

米軍による訓練、米軍艦船の航行、自然災害等の影響を受ける水域により、影響を受ける漁業者及び漁業協同組合が施設整備等を行うために借り入れる資金に対し、利子助成金を定額で助成した。

- ・助成対象者＝沖縄県に住所を有する漁業者及び漁業協同組合
- ・助成率＝定額・定率

《交付状況》

資金名	借受者	令和4年度対象利子助成額	
		件数	金額
a 設備資金	漁業者	103 件	14,000,479 円
b 運転資金	漁業者	0 件	0 円
c 運転資金	漁 協	0 件	0 円
合計		103 件	14,000,479 円

《承認実績》

資金名	借受者	令和4年度		平成27年度～令和4年度累計	
		件数	承認額	件数	承認額
a 設備資金	漁業者	27 件	253,520,000 円	150 件	980,110,000 円
b 運転資金	漁業者	0 件	0 円	3 件	6,200,000 円
c 運転資金	漁 協	0 件	0 円	0 件	0 円
合計		27 件	253,520,000 円	153 件	986,310,000 円

(イ) 保証料補助事業*****

沖縄漁業安定基金事業のうち施設整備等利子助成事業の助成の対象となる資金を借り入れる漁業者等に関し、全国漁業信用基金協会沖縄支所が引き受ける保証について、漁業者等から一定の期間保証料を徴収しないこととするために要する経費を定額で助成した。

- ・ 事業実施者＝全国漁業信用基金協会沖縄支所
- ・ 助 成 率＝定額

《事業実績》

単位：円

資金名	平成 27 年度～令和 4 年度			令和 4 年度助成金			
	件数	保証引受累計額	助成対象保証料累計額	四半期別	新規 (a)	追加 (b)	戻し (c)
設備資金	93	582,320,000	25,808,232	第 1	3,949,377	0	0
				第 2	6,290,735	0	0
				第 3	378,185	1,717	0
				第 4	1,210,310	0	0
				小計	11,828,607	1,717	0
運転資金	2	4,000,000	31,308	小計	0	0	0
合 計	95	586,320,000	25,839,540	合計	11,828,607	1,717	0
令和 4 年度助成金 (a) + (b) +(c)					11,830,324		

※助成対象保証料累計額とは、本事業対象期間に引受した債務保証に係る保証料総額に追加保証料及び戻し保証料を加味しており、助成対象の 10 年未満の保証料を記載。

※追加保証料は条件変更によるもの。

※戻し保証料は繰上償還によるもの。

(ウ) 漁業共済掛金補助事業*****

沖縄県における米軍訓練等水域の影響を受ける沖縄県の漁業協同組合に所属している漁業者に対し、共済掛金の一部を定率で助成した。

- ・ 事業実施者＝全国合同漁業共済組合沖縄県事務所
全国漁業共済組合連合会
- ・ 助 成 率＝1 / 2 以内

《交付状況》

単位：円

交付決定額	確定額	残額	執行率
47,999,000	45,558,297	2,440,703	94,9%

《事業実績》

区分 共済種目	件数	共済限度額 (千円)	共済金額 (千円)	共済掛金 (千円)	国庫 補助額 (千円)	補助対 象金額 (千円)	助成金 (円)
漁獲共済	99	1,904,098	1,144,590	56,358	30,999	25,359	12,631,508
養殖共済	12	2,440,011	2,380,200	43,241	16,889	26,352	3,691,443
特定養殖共済	189	1,737,953	1,197,693	119,398	55,973	63,425	29,083,393
漁業施設共済	2	79,370	48,625	2,404	575	1,829	863,602
R04 実績	302	6,161,432	4,771,108	221,401	104,436	116,965	46,269,946
過年度精算等	—	▲717	▲359	▲3,015	▲2,234	▲781	▲711,649
合計	302	6,160,715	4,770,749	218,386	102,202	116,184	45,558,297

※過年度精算等は、前年度以前の契約の本年度における無効、失効、解除又は精算、無事故払戻しによる増減となっている。

(エ) 漁業用燃油支援対策事業*****

漁業用燃油価格の高騰が漁業経営に及ぼす影響を緩和し、漁業経営の安定を図るため、沖縄県における米軍訓練水域や外国艦船等の影響を受ける漁業者に対し、燃油購入に要する経費を定額で助成した。

- ・事業実施者＝沖縄県に住所を有する漁業協同組合又は漁業者が組織する団体
- ・助成率＝定額（令和4年度は予算の範囲内で1KLあたり950円）

《交付状況》

単位：円

交付決定額	確定額	残額	執行率
11,553,900	9,509,500	2,044,400	82.3%

《事業実績》

実施者数	数量（KL）		助成金（円）	
	計画	実績	計画	実績
21団体	12,162	10,010	11,553,900	9,509,500

(オ) 漁具被害対策支援事業*****

我が国の領海及び排他的経済水域内において発生する漁具被害等のうち、被害漁具等が外国漁船を除く外国艦船等の緊急避泊・航行活動等によるものであり、当該艦船等に対する損害補償を申請するために必要な事務手続に要する経費（通訳経費、翻訳経費等）を定額で助成する事業。

- ・事業実施者＝沖縄県に住所を有する地域協議会、漁業協同組合、沖縄県漁業協同組合連合会
- ・助成率＝定額
- ・申請なし

(2) 漁業生産向上対策

(ア) 操業安全対策事業*****

米軍訓練等水域の影響を受ける沖縄県漁業者の安全操業の確保のために必要な機器の整備等に要する経費を定額で助成する事業。

- ・事業実施者＝沖縄県に住所を有する漁業協同組合
- ・助成率＝定額
- ・申請なし

(イ) 漁業奨励補助事業*****

自然災害等によって浮魚礁の流失被害が発生した場合、原状復帰するために必要な流失被害のあった浮魚礁の回収・処分、代替浮魚礁の導入等に要する経費を1／2以内で助成する事業。

- ・事業実施者＝沖縄県に住所を有する漁業協同組合
- ・助成率＝1／2以内
- ・申請なし

(ウ) 地域漁業活性化事業*****

①. 地域活性化計画策定事業*****

地域漁業の実態を踏まえた行政施策や地域と連携した活性化計画の検討及び策定に必要な経費を1／2以内で助成する事業。

- ・事業実施者＝漁業協同組合
- ・助成率＝1／2以内
- ・申請なし

②. 太平洋島嶼国入漁支援事業*****

ミクロネシアやパラオ等の太平洋島嶼国の排他的経済水域内で操業するために必要なオブザーバーの乗船に必要な経費を定額で助成する事業。

- ・事業実施者＝漁業協同組合
- ・助成率＝定額

《交付状況》

単位：円

交付決定額	確定額	残額	執行率
2,200,000	0	2,200,000	0%

《事業実績》

事業実施者	事業内容	助成対象事業に 要する経費(円)	負担区分(円)		備考
			財団助成金	事業実施者 負担金	
沖縄県まぐろ 漁業協会	令和4年度沖縄 県に割当てられ た22航海のオブ ザーバー配船割 当に対して支援 する。	0	0	0	オブザーバー乗 船による新型コ ロナウイルス感 染時の補償問題 等が懸念された ため実施出来な かった。

③. 栽培漁業推進事業*****

稚魚及び稚貝等の放流活動及びその計画策定に必要な経費を1/2以内で助成した。

- ・事業実施者＝漁業協同組合、漁業者又はそれらの団体（漁業協同組合及び市町村で構成する沿岸漁業の振興を目的とする者）
- ・助成率＝1/2以内

《交付状況》

交付決定額	確定額	残額	執行率
1,000,000	714,788	285,212	71.5%

《事業実績》

事業 実施者	魚種	区分	尾数等	放流 海域	事業費 (円)	負担区分(円)			備考
						財団 助成金	事業実施 者負担金	その他	
中城湾沿 岸漁業振 興協議会	ハマフエ フキ(タ マン)	購入 中間 放流	8,000 8,000 0	中城 湾域 内	1,535,437	714,788	770,649	50,000	

④. 後継者育成支援事業*****

地域に適合した漁業生産技術及び漁業関係者の交流・研修に必要な経費（旅費、会場借料等）を1/2以内で助成する事業。

- ・事業実施者＝漁業協同組合、漁業者又はそれらの団体
（女性部、青壮年部など）
- ・助成率＝1/2以内（助成額上限：1事業あたり50万円）
- ・申請なし

(エ) 資源管理型漁業推進事業*****

沖縄県において発生する密漁行為を防止するために必要な陸上監視活動及びその計画策定等に要する経費を定額で助成した。

- ・事業実施者＝沖縄県に住所を有する地域協議会、漁業協同組合、沖縄産水産物の生産者の団体
- ・助成率＝定額

《交付状況》

単位：円

交付決定額	確定額	残額	執行率
1,000,000	1,000,000	0	100.0%

《事業実績》

事業実施者	実施内容	事業費	負担区分(円)	
			助成金	事業実施者負担金
北部地区漁協密漁防止対策連絡協議会	①密漁防止のポスターとステッカーを作成し、鮮魚店や飲食店などを中心に周知啓蒙活動を実施した。②協議会会員へのぼり旗と車両用マグネットシートを配布して密漁防止の啓発として活用した。	1,029,094	1,000,000	29,094
合計		1,029,094	1,000,000	29,094

※北部地区漁協密漁防止対策連絡協議会の構成員（北部地区9漁協）

伊平屋村漁協、伊是名漁協、伊江漁協、国頭漁協、羽地漁協、今帰仁漁協、本部漁協、名護漁協、恩納村漁協

(3) 水産物流通加工対策

(ア) 水産物販路拡大推進事業*****

米軍訓練等水域の影響を受ける沖縄産水産物の消費拡大を推進するため、販路開拓、魚食普及及び消費拡大等にかかる取組に要する経費を定額で助成した。

- ・事業実施者＝沖縄県に住所を有する地域協議会、漁業協同組合、沖縄県漁業協同組合連合会、沖縄産水産物の生産者の団体又はそれらと連携して事業を実施する流通業者及び加工業者
- ・助成率＝定額（助成額上限：1事業あたり300万円）

《交付状況》

交付決定額	確定額	残額	執行率
5,953,000	4,752,695	1,200,305	79.8%

《事業実績》

事業実施者	実施内容	事業費 (円)	負担区分 (円)	
			助成金	自己負担金
沖縄県漁業協同組合連合会	県内外業者及び観光卸業者へ「乾燥もずく」及び「洗いもずく」等のサンプルを提供し販促活動を行った。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により消費・需要が低迷しているため、取引先等へサンプル提供による販路拡大を図った。グルクマや小シビを使用した加工品の試作、新商品開発に取り組んだ。	3,505,822	3,000,000	505,822
ヤエスイ合同会社	水揚げされたマグロの状況によって、利用方法を区別し、加工による付加価値の向上を図る。また、未利用部位や低利用部位の商品開発と販路開拓を行うことで付加価値化を図り、持続的経営のための収益構造の確立に取り組んだ。	1,752,695	1,752,695	0
合計		5,258,517	4,752,695	505,822

(イ) 水産物流通加工推進事業*****

①. 水産物流通加工推進事業*****

沖縄産水産物の流通促進のため、加工商品及び流通手法の開発、機器の導入に要する経費を助成する事業。

- ・事業実施者＝沖縄県に住所を有する漁業協同組合及び沖縄県漁業協同組合連合会又はそれらと連携して事業を実施する流通業者、加工業者
- ・助成率＝1／2以内（助成額上限：1事業あたり100万円）
- ・応募なし

②. 水産物流経路開発支援事業*****

沖縄産水産物の流通促進のため、漁協と一体となって取り組む新規の店舗及び加工設備等及び簡易営業店舗設営にかかるテント、機器機材等の借料に対し、定額で助成する事業。

- ・事業実施者＝沖縄県に住所を有する漁業協同組合と一体となって取り組む沖縄産水産物の生産者団体（漁業士会、女性部、青壮年部など）
- ・助成率＝定額（助成額上限：1事業あたり50万円）
- ・応募なし

【その他の事業（相互扶助等事業）】

1. 漁業者高齢福祉推進事業*****

漁業者の老後生活の不安解消を図り、生活基盤の安定による福祉の増進を図ることを目的に、漁業者が支払う漁業者年金掛金に補助した。

- ・事業の対象：漁業協同組合
- ・選考方法：漁業協同組合に所属する正組合員とし、漁業生産活動を生活の基盤としている者を対象としている。
- ・補助率：定額（3千円／年）
- ・定款上の根拠：第4条第4号
- ・財源：基本財産の運用益

《事業実績》

単位：円

漁協	人員	補助率	補助額	備考
16	23	3千円/人	69,000	新規0人、再開0人、休止0人、払込終了3人 解約解除2人、資格変更0人、脱退0人

2. 特定水産物調整保管事業*****

沖縄県特定水産物調整保管事業資金造成事業補助金交付要綱（以下「県補助金交付要綱」という。）及び沖縄県特定水産物調整保管事業資金造成事業実施要領（以下「県実施要領」という。）に基づき、本県の基幹水産物であるモズクの価格安定を図るため、県、市町村、漁業者、当基金が造成した資金を用い、県内モズク生産漁協等で構成する「沖縄県もずく養殖業振興協議会」が需給動向に基づき定めた目標生産量を設定した上で、モズクの産地価格の低迷時に漁業協同組合等から一定の価格で買い取ったものを調整保管の上、主要消費地等において消費地価格の安定に資するよう放出するための費用（保管料、入出庫料、買取資金借入利息）を充当する事業及び県産水産物の生産量増大や消費拡大に繋がる事業であり、当基金は県補助金交付要綱並びに県実施要領に基づく造成資金の管理を行っており、事業実施に関しては沖縄県漁業協同組合連合会等に委託して実施する内容となっている。なお、令和4年度は造成資金の増額（積立金運用利息）のみとなった。

- ・事業の対象：沖縄県漁業協同組合連合会等（委託先）
- ・選考方法：沖縄県漁業協同組合連合会等から事業発動に備えた実施計画書が提出された後、県実施要領に基づき、県知事の承認を得ることを要する。
- ・補助率：造成資金の範囲内
- ・定款上の根拠：第4条第2号
- ・財源：造成資金（県、市町村、生産者、基金）

(資金造成実績)

単位：円

負担区分	前年度末 帳簿価額	前年度末 経過利息	R04 年度 造成額	未経過 利 息	今年度末 残高
県	25,801,625	0		0	25,801,625
生産者	6,241,647	0		0	6,241,647
市町村	16,475,000	0		0	16,475,000
振興基金	9,876,323	0		0	9,876,323
積立金運用利息	8,863,422	△3,685	336,271	3,703	9,199,711
合 計	67,258,017	△3,685	336,271	3,703	67,594,306
通帳残高	67,254,332		336,271	67,590,603	

※未経過利息=R5.3.28～R5.3.31 の間(4日)の運用利息の見越し計上額。

《関連活動》

年月日	事 項
04.07.22	もずく協議会第1回幹事会出席（水産会館）
07.27	もずく生産者等の代表者会議出席（水産会館）
05.03.17	もずく協議会第2回幹事会出席（水産会館）